# 作品ができあがるまで

作成日：2024/1/22
対象児：ふじ組　5歳児
作成者：小城亜矢子

ねらい：様々な素材や方法を用いて、自分なりに工夫しながら製作を楽しむ。

振り返り
2月の作品展に向けて作品作りをしています。作品展に出す作品だからこそ子ども達の想像力が増すように、製作自体を楽しめるようにと普段とはちょっと違った素材や方法を使って製作をすることにしました。普段よく使う折り紙や画用紙だけではなく、ホイルや段ボール・和紙や千代紙などの素材を用意しました。素材集めをしていると、普段気に留めなかったものも「あ、これを使ってみたらおもしろいかも」「これは子ども達ならどう使うんだろ？」と私自身想像の幅が広がって、準備段階からワクワクしました。子ども達も「えー！何これ？」「これ使ってもええん？」と興味津々。創作意欲が湧くにはまずは興味関心を持つ事なんだなと感じました。製作するにあたって子ども達が苦戦したことは、製作の順番です。版画ではシールを重ねていくのですが、耳や髪を先に貼ること、絵画の竜の鱗はしっぽの方から少しずつ重ねていくことなど、自分たちがやりやすいようにしていくと出来上がりのイメージが違ってくることを戸惑い、「あー、こうじゃない」「まちがった！」と何度もやり直しをしながら自分たちが納得いくまで取り組みました。出来上がった作品からは子ども達の工夫や努力がよく伝わってきます。作品展ではぜひ子ども達の製作する姿を想像しながらご覧いただけたらと思います。（自立心、思考力の芽生え、豊かな感性と表現）